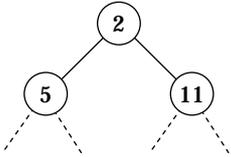
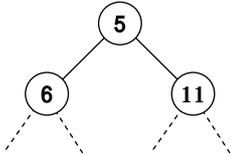


下記の部分に誤りがありましたので訂正いたします。ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

2004 ソフトウェア開発技術者 午後問題の重点対策

No	訂正箇所	誤	正
1	P.124 設問 3bの解答	10	15
2	P.196 流れ図 中段の処理	false 完了[I]	true 完了[I]
3	P.203 上から 3 行目と 8 行目	表 3-6	表 3-5
4	P.302 上から 9 行目	HAVING SUM(英語)	HAVING AVG(英語)
5	P.303 下から 14 行目	WHERE 担当ブロック = '関東' OR '東北'	WHERE 担当ブロック = '関東' OR 担当ブロック = '東北'
6	P.304 下から 9 行目	... 顧客番号 = 受注表.顧客番号)	... 顧客番号 = 顧客名簿.顧客番号)
7	P.304 下から 4 行目 SQL 文の例 (例として不適切でした。訂正させて頂きます。)	例) SELECT 社員番号, 社員名 FROM 社員名簿 WHERE 残業時間 > ANY (SELECT 残業時間 FROM 勤務管理簿 WHERE 月 = 10) 勤務管理簿から 10 月の残業時間が誰よりも多い社員を表示する。	例) SELECT 社員番号, 社員名 FROM 社員管理簿 WHERE 区分 = "準社員" AND 今月残業時間 > ALL (SELECT 今月残業時間 FROM 社員管理簿 WHERE 区分 = "正社員") 準社員の中で、今月残業時間が正社員の誰よりも多い社員を表示する。
8	P.305 上から 16 行目	WHERE 会員番号)	WHERE 会員番号 = 会員名簿.会員番号)
9	P.305 上から 17 行目	1990/01/01 より前に,	2003/01/01 より前に,
10	P.305 下から 7 行目	WHERE 商品コード = ALL	WHERE 商品コード IN
11	P.308 (d)(e)枠内	カレント表名	カーソル名
12	P.332 表1 左端見出し	使用時間 FROM 使用時間 FROM ...	車種クラス 使用時間 FROM ...
13	P.333 図2 「料金表」 エンティティの属性	使用時間 FROM (下線抜け)	使用時間 FROM
14	P.377 表3の見出し	平均故障時間	平均故障間隔
15	P.522 説明文 下から 3 行目, [方法 B]の get のアルゴリズムに....., [方法 B]の put のアルゴリズムに.....
16	P.522 下の図 右側	⇒ 	⇒ 

17	P.579 [設問 2] 解説文	<p>(稼働率と故障率二つの考え方が混在しております。次のように故障率だけで考えた解説に変更させていただきます。お手数ですが、こちらを参照してください。)</p> <p>二つのユニットの故障確率を $p/2$ として実際に計算してみると、</p> <p>(ア)の場合は、E - F間が正常に機能する確率は $(1 - p/2)^2$、G - H間は $(1 - p)^2$ であるから、システム全体の故障確率は、両方が故障する $\{1 - (1 - p/2)^2\} \times \{1 - (1 - p)^2\}$ になる。</p> <p>(イ)の場合はE - F間、G - H間ともに正常に機能する確率は $(1 - p/2)(1 - p)$ である。よって、システム全体の故障確率は、両方が故障する $\{1 - (1 - p/2)(1 - p)\}^2$ になる。</p> <p>(ア)の故障確率は、</p> $= \{1 - (1 - p/2)^2\} \times \{1 - (1 - p)^2\} = \{1 - 1 + p - p^2/4\} \times \{1 - 1 + 2p - p^2\}$ $= p^2(1 - p/4)(2 - p) = p^2(2 - 3p/2 + p^2/4)$ <p>(イ)の故障確率は、</p> $= \{1 - (1 - p/2)(1 - p)\}^2 = \{1 - 1 + 3p/2 - p^2/2\}^2$ $= p^2(3/2 - p/2)^2 = p^2(9/4 - 3p/2 + p^2/4)$ <p>(イ) - (ア) = $p^2(9/4 - 3p/2 + p^2/4) - p^2(2 - 3p/2 + p^2/4) = p^2/4$ (常に 0) となる。したがって、(ア)の方の故障率が小さくなるので、効果的である。</p>
----	---------------------	---

(株) アイテック 教育開発部